～人、モノ、文化の交流活発に～

山陽・九州新幹線 直通始動

西日本の未来開く

12日、西日本地域は新たな時代を迎える。九州新幹線が全線開通するのと同時に大阪から鹿児島までが新幹線一本でつながる。一つにつながることで、人やモノの流れが変わるのはもちろん、人々の意識も大きく変わる。より身近になることで人と人とのつながりはさらに強くなるだろう。そこで佐々木隆之JR西日本社長と唐池恒二JR九州社長の両氏に西日本の新たな時代への期待や今後の取り組みについて聞いた。

INTERVIEW

JR西日本　佐々木 隆之社長

九州、近づく意味絶大

旅行 新たな形が可能に

―山陽・九州直通新幹線が開通するメリットは。

「西日本エリアと九州が近づくことが大きい。岡山、広島とも短縮効果があり、将来、大阪の企業が工場を九州に作る可能性なども出てくるだろう。東京駅では鹿児島中央行き『みずほ』のアナウンスができる効果もある。九州の地名を潜在意識に刷り込むことで東日本の人に親近感を感じてもらえるのでは」

―国内航空路線との競争も激しくなります。

「航空機との競合は当然、念頭にある。そのため（移動時間の限界ラインと言われる）4時間の壁を突破した。航空機との差は、途中下車ができるところ。当社もノンストップ特急を試験的に運行したが、収益は思うようにあがらなかった。新幹線は一本の路線で全国各地の多様な人が乗降することで収益を生み出せる」

―山陽・九州直通新幹線は車両の仕様にもこだわっています。

「直通新幹線にはN700系を使うが、急峻な九州山間部の駆動に耐えられるよう8車両すべてにモーターを設置した。陶磁器のような車体やゆったりとした座席など内装にも力を入れた。思い入れの強い日本の新幹線は海外からも好評だ。フランスの新幹線（TGV）は、車両構成こそ日本を参考にしていないが、ビジネスモデルの先見性は高く評価していると聞く」

―中国地方など沿線地域との連携も視野に入れています。

「従来、岡山・広島は関心がなかなか集まらなかった。ところが直通新幹線だと九州南部から広島への日帰り旅行など新しいパターンができる。広島ではいが強いようだ。県と連携し、2010年に名探偵コナン広島・宮島（広島県廿日市市）ミステリーツアーを組んだ。思いのほか九州からの利用客が多く、岡山でもジーンズをオーダーメードで作るツアーを売り出している」

―観光は一大産業とお考えです。

「これまでは観光地を見学し、ちょっとした土産品を買う発想だったが、今では見る・食べる・買うという行為を都市圏で完結する、計3要素が詰まった都市型観光にシフトしている。都市型観光には2次・3次の波及効果があり、観光は産業の一つになっていると言える。当社管轄の京阪神地域には神社仏閣など観光資源の魅力のほか、大阪駅周辺にはJR大阪三越伊勢丹など個性豊かな百貨店が4店そろう。観光客による消費拡大が期待できる」

―営業畑の出身で商品開発にも積極的です。

「営業時代にJR九州と日韓共同きっぷを手がけた。韓国・釜山から高速船で博多まで移動し、博多から大阪へと周遊する切符で、今でも続いている。直通新幹線開通を機に、中国などアジアを意識した訪日外国人（インバウンド）向け商品を開発したい」

―国内はもとよりアジアにも照準を合わせるのですか。

「海外から西日本への入り口は2カ所。福岡空港と関西国際空港だ。現在国内大手旅行代理店にヒアリングを実施しており、観光客の利用しやすい形を模索している。11年度中にも第1弾、第2弾商品を売り出したい。国内代理店や当社上海事務所のネットワークを使って、現地代理店に販促したい」

JR九州　唐池 恒二社長

地域の新時代 幕開け

都市間輸送、量・質 変わる

―全線開業と相互直通運転開始に、どのように期待されていますか。

「九州新幹線は1973年にルート計画が決定し、38年をかけて全線開業する。3日に先行開業した新博多駅ビル『JR博多シティ』は、完成して改めて大きさを実感した。九州新幹線との同時開業で、二つのプロジェクトが一体化して見られる。新幹線のプロジェクトの深さを実感してもらえる。地域にとって新しい時代の幕開けとなる」

「九州には三つの変化が生まれる。まず福岡、熊本、鹿児島という主要都市間に高速鉄道の軸ができる。時間短縮で日常生活圏となり、都市間輸送の量と質が変わる。次に大阪、岡山、広島から九州へ影響がある。これまで関西・中国地方発の旅行に、九州は選択肢として含まれなかった。九州で面白いことが起きている、と注目してもらえる。九州から関西・中国方面への移動も増えるだろう。アジアにもインパクトがある」

―アジア観光客受け入れは期待が大きいです。

「新幹線は人気があり、約10年前までは日本の観光目的の一つだった。いま観光地はアジアの地域間競争だ。九州は一つになる必要がある。食、買い物、温泉、自然風景、和の文化の五つを求めて日本に来る。だが銀座や京都、熱海などを回るゴールデンコースは九州内でも作ることができる。郷土料理は各地にあり、福岡市内で買い物する。大分、熊本、鹿児島には国内の人気温泉地が多数ある。阿蘇山や宮崎の日南海岸など風景もすばらしい。熊本城で文化も体験できる。新幹線車両にも木材を多く使い、和も感じてもらえるようにした。これらを武器に観光客を呼び込む」

―二次交通の施策も重要になってきます。

「観光列車を充実させる。12日からは鹿児島中央―指宿（いぶすき）間で新しい観光列車『指宿のたまて箱』を投入。浦島太郎伝説をモチーフにした、乗って楽しい列車だ。九州全体で6―7種類の観光列車を運行する。また、高速バス『B&S みやざき』も運行を始める。新幹線と組み合わせて博多―宮崎を最速3時間8分で結ぶ。新幹線がなければ考えられない。ハウステンボスも力を抜かない。新幹線が背骨、在来線を肋骨（ろっこつ）に、九州全体に力を入れる」

―九州の魅力は何でしょうか。

「何でもあるのが魅力だ。各地を鉄道で結ぶことで統一感が出る。街並みを整備することで歓迎の表現も生まれる。宮崎県の飫肥（おび）地区や熊本県の黒川温泉、大分県の鉄輪（かんなわ）温泉が先進的だ。ツアーバスで回る外国人観光客も、少しでも街を歩いてもらうことで和を体験できる。修学旅行や団体客を長く相手にしてきた、九州のかつての栄光は通用しない」

―どのように地域とかかわっていきますか。

「駅長が企画し、駅を起点に歩く『JR九州ウォーキング』は毎回約1000人が参加。年間参加者数は数万人になる。地域ボランティアにも掃除や整備の手伝いをお願いするなど、手間がかかっている。観光資源になり地域も元気になる。地域を元気にすれば当社も元気になる。駅だけではなく、駅を起点に街全体が潤う街づくりを目指す。駅長や社員、経営陣それぞれにできることがある。全社一丸となって地域に貢献していく」

お菓子放浪記

広島県　亀屋の「川通り餅」

◎…県外でも買いやすいもみじまんじゅうとは異なり、亀屋の「川通り餅」は他県では手に入りにくい広島ならではの味。もちにさされたようじをつまみ口に運ぶと、柔らかい求肥の中に時々感じるくるみの歯ごたえがアクセントになり、つい食べ過ぎてしまう。全線開業で福岡―鹿児島にも一挙に味が浸透するかも。

亀屋の「川通り餅」㊤と、きびだんご

岡山県　きびだんご

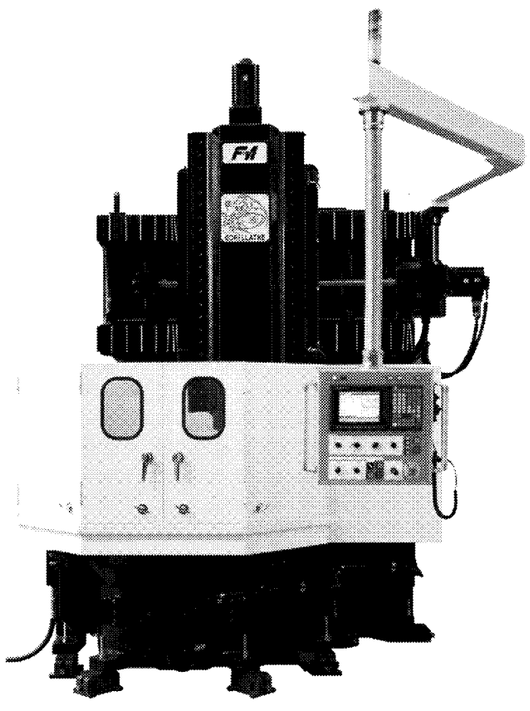
◎…数多い岡山みやげの中でも種類の豊富さではきびだんごが一番。土産物店には、あん入り、マスカット味はじめ無数のバリエーションが並ぶ。同県には中世夢が原（井原市）のように桃太郎説話が形成された時代を再現した施設もある。だんご片手に訪れてみては。

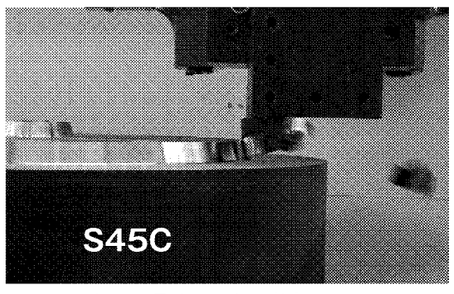
FUJITA MANUFACTURING

超高剛性NC立旋盤

テーブル径1,250mm、オプションで1,600mmも対応可能です。

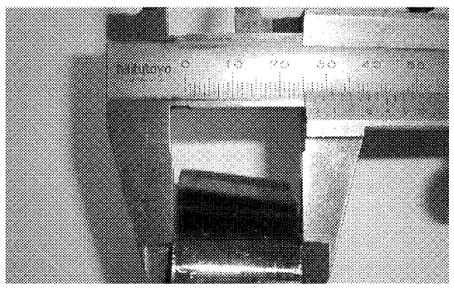
GORILLATHE（GL-125）





上面強力切削加工

切り込み1inch（25,4㎜）・送り0.6／rev



株式会社 藤田製作所

http://www.fujitam.co.jp/

港工場（本社工場）　〒793-0046 愛媛県西条市港1番地の2　TEL(0897)56-5373　FAX(0897)56-9240
ひうち工場　〒793-0003 愛媛県西条市ひうち西ひうち3番10　TEL(0897)56-4677　FAX(0897)56-4680
プラント工場　〒793-0046 愛媛県西条市港2番地の7　TEL(0897)53-8181　FAX(0897)53-8177

祝 受賞おめでとうございます

2010 四国産業技術大賞

四国地域イノベーション創出協議会は、毎年、優れた新製品や技術を開発し四国の産業技術の発展に顕著な貢献のあった企業等の表彰を行っています。
15回目の今回は、次の11社の方々が各賞を受賞されました。

◎2010四国産業技術大賞に関する詳細はホームページをご覧ください。http://www.tri-step.or.jp/hyoushou/

産業振興貢献賞

協同組合 菱花（愛媛県今治市）
今治産地の特性を活かし、工業製品から脱却した最高級織物を開発

優秀技術賞

○最優秀賞
㈲ダイカテック（徳島県北島町）
粉体付着防止のための鋼板表面加工技術「F研磨」の開発

○優　秀　賞　高松帝酸㈱（香川県高松市）
㈱マシンパーツ（徳島県松茂町）

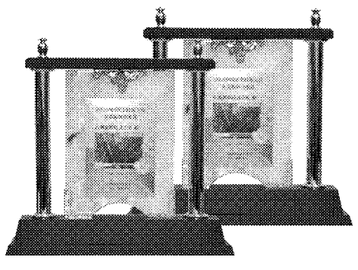
○優秀技術賞　鎌長製衡㈱（香川県高松市）
日本フネン㈱（徳島県徳島市）

技術功績賞

○最優秀賞
㈱パル技研（香川県高松市）
24GHz帯特定小電力無線局、技術適合基準に適合したマイクロ波距離センサーの開発

○優　秀　賞　シルバーメイキング㈱（徳島県徳島市）
㈱スペック（徳島県徳島市）
住友重機械エンジニアリングサービス㈱（愛媛県新居浜市）

○技術功績賞　紀和工業㈱（高知県高知市）



主　催／四国地域イノベーション創出協議会
事務局／STEP（財）四国産業・技術振興センター
〒760-0033 香川県高松市丸の内2番5号 ヨンデンビル4F
TEL.087-851-7083 FAX.087-851-7027
後　援／四国経済産業局、産業技術総合研究所四国センター、中小企業基盤整備機構四国支部